

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 名称 東京都立総合芸術高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局 主任教諭（総務部主任）＝事務局長、経営企画室長 計2名
- (3) 内部委員
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部）、主任教諭（総務部）、主任教諭（進路指導部）
主幹教諭（美術科）、主任教諭（舞台表現科）、主任教諭（音楽科）、主幹教諭（生活指導部）
計10名
- (4) 協議委員の構成
東京芸術劇場 副館長 鈴木 順子 氏
学識経験者 美術（退職校長 佐藤 清親 氏）
学識経験者 音楽（退職校長 鈴木 留美子 氏）
近隣中学校長（新宿区立新宿中学校長 松澤 亮 氏）
地域住民（東京都民生委員、児童委員 御所窪 和子 氏）
近隣警察署（牛込警察署 生活安全課 渡邊 一貴 氏）
保護者（3年次保護者 許安 俊成 氏） 計7名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年6月20日（金） 内部委員10名、協議委員6名
 - ・学校経営計画、昨年度の学校経営報告
 - 第2回 令和7年11月21日（金） 内部委員10名、協議委員6名
 - ・これまでの教育活動に関する中間報告
 - ・協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和8年2月6日（金） 内部委員10名、協議委員5名
 - ・これまでの教育活動に関する報告
 - ・協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の結果報告及び学校運営に対する提言、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年11月21日（金）
 - ・アンケートの内容確認、ほか
 - 第2回 令和8年2月6日（金）
 - ・アンケート集約結果の分析、考察、課題の整理、協議、次年度へ向けて

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・12月 全生徒 対象：本校在籍生徒 463人
 - ・12月 保護者 対象：本校在籍生徒保護者 463人
 - ・12月 地域・住民 対象： 50人
 - ・12月 教職員 対象： 47人
- (3) 主な評価項目
 - ・学校生活満足度、学習指導、生活指導、進路指導、学校行事、生徒会活動、施設・設備など
- (4) 評価結果の概要と分析、考察
 - ・学校評価アンケートの回答は、専門教科の指導に対する生徒の肯定的な回答が97%を占めており、昨年度と同様に特色のある教育活動が評価されている。
 - ・保護者・生徒・教職員ともに、普通教科の指導は充実している」の「あてはまる」の回答が41%となっており、昨年度より（R6年度46%、R5年度24%）若干下がるが、ここ数年で回復傾向にある。
 - ・昨年度webアンケートは実施時期によっては回答忘れが多数見られるため、webアンケート実施について、余裕を持って実施し、生徒に対してはホームルーム担任からの指導だけでなく、Microsoft teamsによる連絡を行うことで回答率は改善された。保護者の連絡にClassiを活用した調査や連絡を今後も推進する。

- ・三学科が交流して取り組む授業や行事について、生徒同士の意識意識が高い一方で教員の認識が低いため、今後も継続的に連携を推進する必要がある。
- ・地域には、引き続き情報発信に力を入れて積極的に連携を進めていく。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・本校は都立で唯一の芸術に特化した学校として開校し、16年目である。美術科、舞台表現科、音楽科それぞれが展覧会や発表会、公演等を実施してきた。対外的にも高い評価を得ている。
- ・各科の専門的な指導には生徒のモチベーションも高く、保護者の要求水準も高い。
- ・進学の実績も多岐にわたるとともに、生徒が各々の専攻を生かした進路を目指している。
- ・各科で様々な発表の場を設け、生徒の力量向上に大きな影響を与えた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・3科の連携を深める取り組みを推進したことで、今後も舞台や音楽の発表を学校全体で観るなど、学校内の発表を見せる機会を増やし、各科生徒のモチベーションを高める。
- ・専門教科だけでなく、普通教科の学習を充実させていくための取組を引続き検討していく。
- ・学校評価アンケートは、グラフ等を数年度にわたって載せることで経年変化を今後も見ていく。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

生徒の学校評価から、学校生活の肯定的評価を高められるような取組を目指す。

(2) 学習指導

中期的目標及び次年度の取組目標として、普通教科の学力向上対策を明記して取り組む。

(3) 特別活動

中期的目標に、他の芸術分野の理解と他科の生徒と協働できる取組を明記して取り組む。

(4) 生活指導

中期的目標及び次年度の取組目標に、マナーや規範意識の向上、時間厳守、礼儀作法や身だしなみに留意させていく。

(5) 進路指導

今年度の進路決定率を維持し、さらなる向上を図る。

(6) 健康・安全

- ・基本的な生活習慣の確立とその定着を図り、遅刻者を減少させる。
- ・生徒の健康や安全管理に配慮し、いじめや自殺防止のための取組を推進する。また SNS 等の安全な利用について指導する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 7名

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
6	1	0	0	0	0	1

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

1, 2回目と授業公開後、学校運営連絡協議会を実施し、授業内の活動を見た上での意見交換が可能となった。次年度も継続していく。各学科の高い教育レベルを外部にアピールできるよう引き続き積極的な情報発信に取り組んでいく。学校経営計画「都民から信頼される学校づくり」に「美術科、舞台表現科、音楽科が一致協力して」という文言があり、アンケートの結果からも3科が連携できるよう、継続的に行事等を活用し交流を図ると共に生徒の社会貢献する意識を醸成させる。